

岩沼市の震災に耐えた堤防

～既存施設を活かした海岸堤防の復旧～

- 岩沼海岸南端にある海岸堤防は、岩沼市内で唯一震災当時の姿を留める堤防です。千年に一度と言われる津波にも堤防の一部が耐え、被害軽減にもつながったとして、岩沼市から保存の要望が出されていました。
- 「震災に耐えた堤防」は、震災後に堤防の健全度を評価した結果、津波や地震に対する安全性の確保が難しいと判断されたことから全て撤去する予定でしたが、地域の要望を受け、貴重な震災遺構として可能な限り現在の施設を保存することとしました。保全にあたっては比較的健全な海側部分を残しつつ、堤防の安全性を確保するために既設堤防の土質改良を行い、粘り強い海岸堤防構造となるよう補修を実施しました。



◆当初計画においては被災した堤防は全て撤去する計画



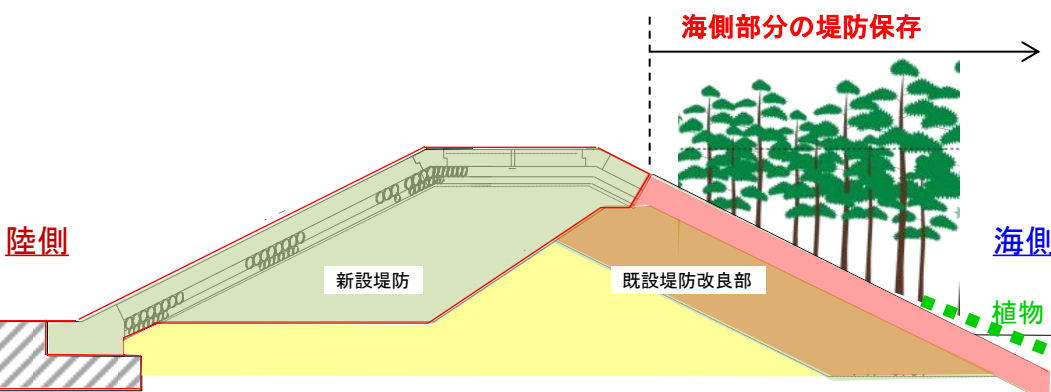
◆大津波に耐えた貴重な震災遺構として、既設堤防を可能な限り保存



◆著しく損傷した堤防上部・陸側については再構築し、比較的健全な海側については、既設堤防の改良を行い補修を実施。



◆残存するクロマツも含め、震災当時の堤防の姿を保存するとともに、堤防前面の海浜植生を保全

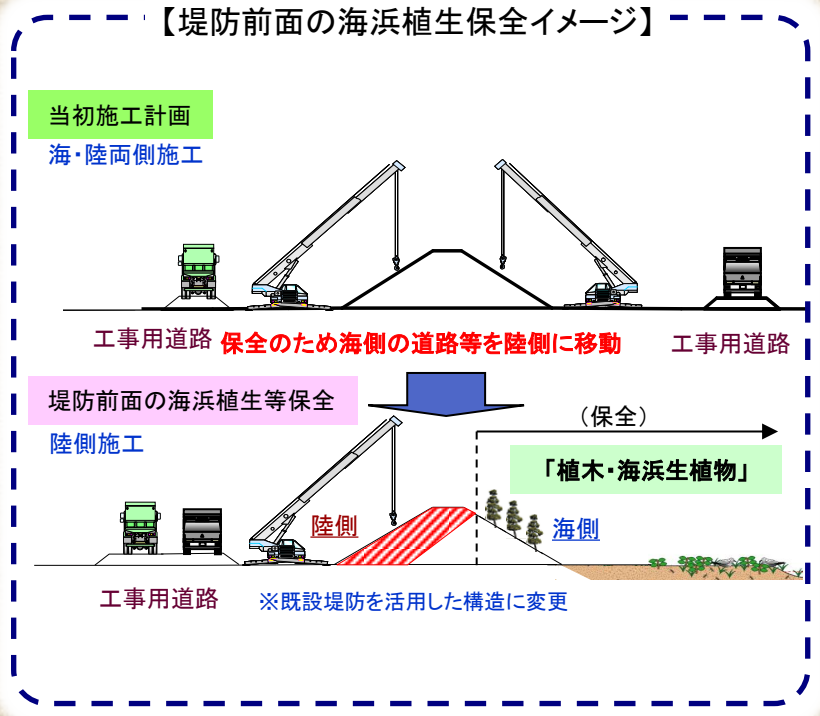


蒲崎工区現場での取り組み

■震災に耐えた堤防の保全対策実施状況

⇒比較的健全な海側について、既設堤体の土質改良を行い保存。これにより、海側の工事用道路が不用となるため、堤防前面の海浜植生も保全されることとなりました。

被災状況 (H23.3.17撮影)



8月10日堤防完成状況 (H27.9.29撮影)

